

世界に届けたい魅力がある

大山地域通訳案内士の活躍

大山をはじめとした自然にあふれ、歴史・文化が根付くまち伊勢原。かつて江戸の人口が100万人だったころ、年間約20万人もの参拝者が「大山詣り」に訪れていました。現在も、首都圏からの交通アクセスが良いことから、令和5年には国内外より伊勢原の魅力を求め、約183万人が訪れました。

近年、全国でインバウンド(訪日外国人の旅行)が急増しており、本市でもインバウンド受け入れのため、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、市では外国人観光客に本市の魅力を伝えるため、県内初の「地域通訳案内士」の育成に取り組んでいます。

担商工観光課 ☎94-4729

歴史・文化を伝える 大山地域通訳案内士

平成25年に県から横浜、鎌倉、箱根に次ぐ、第4の国際的な観光地の候補地として、大山地域が認定されました。また、平成28年には市のシンボルである大山の歴史・文化を語る大山詣りのストーリーが、日本遺産として文化庁に認定されています。

大山詣りをはじめとした、大山地域*の歴史・地理・文化などの知識を英語で案内できる人材を「大山地域通訳案内士」(以下「案内士」と言います)として登録しています。市が行う研修を受講することで登録ができ、現在34名が活動しています。

主な仕事は、外国人観光客に付き添い、質の高い通訳ガイドを英語で行うことです。個人事業主としてガイド活動を行うほか、市で行う外国人向けの観光事業でも活躍しています。

*大山地域通訳案内士制度では、「大山地域」を伊勢原市全域、秦野市菰毛地区・ヤビツ峠、厚木市七沢地区と定義しています

主な活動内容

「大山地域通訳案内士の会」の設立

情報共有や能力の向上、ガイド案件の確保につなげるため、「大山地域通訳案内士の会」を設立しました。会では、随時勉強会を実施しながら、ガイドに関する意見交換や営業活動の検討などを行うことができ、案内士がチームとして活動できる場となっています。

今後は、旅行会社と協力し、大山詣りのストーリーを題材とした案内士が主役となるガイド付きツアー商品を検討しています。来訪者の心をつかむ商品を作り出すことで参加者も増え、案内士の活躍の場も増えるため、旅行商品の開発にも力を入れていきます。

ツーリズムEXPOジャパン2024に出展

東京ビックサイトで開催された世界最大級の総合観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2024」に、大山地域通訳案内士の会として出展しました。イベントでは、案内士自身が市の魅力を多くの来場者に伝えたほか、旅行会社と商談などを行い、自身の力で今後のガイドの仕事につなげることができました。



出展ブースでは市の魅力を紹介しました



江戸時代の大山詣りの様子を描いた浮世絵「大當大願成就有が瀧重」

「OYAMA GUIDE BLOG」の開設

英語で観光情報を発信する場としてブログを開設しました。案内士の紹介や季節の観光情報を写真とともに発信するほか、ガイド依頼を受け付けています。◇右のQRコードからご覧になれます



OYAMA GUIDE BLOG

インバウンド富裕層向けツアーの参画

江戸庶民の憧れだった大山詣りを元に、当時の娯楽や粋な大山詣りを現代版に再現したインバウンド富裕層向けツアーを実施しました。

ツアーではケーブルカーの貸し切り特別運行や、夜景を堪能しながら楽しむ食事など、普段はできない体験を楽しみ、案内士は、参加者の専属ガイドを担当。大山詣りのストーリーをより深く丁寧に伝えることで、満足度の高いツアーが実現しました◇右のQRコードからツアーの様子がご覧になれます



特別な体験で高い満足度を得られました



YouTube

伊勢原の魅力を海外へ伝えたい

もともと英語を生かした活動がしたいと思っており、歴史が好きだったことも相まって大山地域通訳案内士に応募しました。制度自体が新しいということもあり、自由度が高く自分で好きなように案内を企画できることが魅力だと思っています。また、他の案内士の仲間がいることでお互いに情報共有することができ、心強く思っています。

今後は旅館を利用して宿泊や食事など1日を通して体験や、より多くの観光スポットを案内して、伊勢原の魅力をたくさん伝えたいと思っています。

大山地域通訳案内士
遠藤良子さん



海外へ行った際、現地の人に親切に案内してもらった経験から、自分も旅行者の力になればいいなと思います。案内することでお客さんの笑顔が見られたときや、喜んでもらえる瞬間にやりがいを感じています。お客さんにより詳しく説明できるよう、実際に東京の永田町から大山までの旧大山街道を歩くなど、日々勉強しています。この活動を通して伊勢原に海外からの旅行者がたくさん来てくれたら嬉しいです。

大山地域通訳案内士
朝田貴明さん



モニターツアーで大山詣りを体験

訪日観光客を現地で案内するツアーを想定して、国内に住んでいる外国人を対象にモニターツアーを実施しました。実際に外国人観光客を案内することで、どのようなものに興味を持つのか観光客の反応を知ることができ、案内士同士で共有することで、能力の向上につながりました。

ツアー日程

12:30

宿坊でお清めを行い、大山詣りの行衣を着用。納太刀を持ち、いざ大山へ。



13:00

こま参道を観光しながら、大山ケーブル駅へ向かいます。



13:45

大山阿夫利神社下社で神楽を見学し、宿坊から持ってきた納太刀を奉納。昔奉納された納太刀の実物を持ち上げる体験をしました。



15:45

大山寺を参拝し歴史的建造物を見学します。



17:00

宿坊で豆腐料理を味わい終了。

参加者の声

モニターツアーをきっかけに初めて伊勢原市にきました。自然豊かで空気が良く、きれいな緑が印象的で、神社とお寺はとても美しかったです。案内士の説明はとても分かりやすく、特に歴史に関する説明は興味深かったです。ぜひまた来たいです。

リザさん



インバウンドのこれから

コロナ禍以降、外国人観光客の旅行に対する考え方は多様化・個性化の傾向が強まっており、このニーズに対応できる受け入れ体制を整備することが課題となっていました。

課題解決の第一歩として、地域通訳案内士制度を導入したことで、日本遺産をはじめとする大山の魅力を外国人観光客へ伝えることができ、改めて伊勢原の魅力を味わってもらうことができます。案内士の活躍が滞在時間や満足度を上げる重要な鍵となります。

「大山地域通訳案内士」を通して伊勢原の魅力を伝えることで、外国人観光客をさらに増やすさまざまな取り組みにつなげていきます。



そのほかのインバウンド施策

SNSでインバウンド向け観光情報を発信

商工観光課では、海外へ向けた観光情報を英語を用いてFacebook、Instagramでお届けしています。外国人ジャーナリストによる取材を行い、伊勢原の新たな魅力を発信しています。各SNSで「Discover Isehara-Countryside Near Tokyo」を検索するか、右のQRコードからご覧になれます。



Facebook



Instagram

MICE*向け日本遺産大山詣り体験コンテンツ造成事業(伊勢原地域観光新発見事業)

大山詣りのストーリーに沿った旅行商品を企画することで、来日したMICE*参加者に本市を観光してもらえるよう、誘致活動をしています。

*MICE…国際機関や団体、学会が行う会議や展示会・見本市などのビジネスイベント